

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

		事業番号	0350/501010/06/00	事業の種類	5	
年度	19	事務事業名	自然学校推進事業	作成日	平成21年1月20日	
予算事業名	自然学校推進事業		担当部課名	学校教育課		
政策名	愛着と生きがいを育むまちづくり		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
施策名	小・中学校教育					
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童5年生				
	誰(何)を対象として	小学校児童5年生				
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童が人や自然、地域社会とあれあい、理解を深めるなど、さまざまな体験活動をおし自分で考え問題解決する力、生命への思いやりの心を育み、生きる力を育成することを目的とする。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		児童が人や自然、地域社会とあれあい、理解を深めるなど、さまざまな体験活動をおし自分で考え問題解決する力、生命への思いやりの心を育み、生きる力を育成することを目的とする。				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	参加数	人	287	301	308	287

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.250	0.280	112.0	0.280	100.0	0.280	100.0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	3,177,608	3,121,074	98.2	3,175,865	101.8	3,108,932	97.9	
	事業費	5,445,000	5,445,000	100.0	5,785,000	106.2	5,445,000	94.1	
	合計	8,622,608	8,566,074	99.3	8,960,865	104.6	8,553,932	95.5	
財源内訳	国庫支出金	0	0	-		-		-	
	県支出金	2,722,000	2,722,000	100.0	2,892,000	106.2	2,722,000	94.1	
	市債	0	0	-		-		-	
	その他	0	0	-		-		-	
	一般財源	5,900,608	5,844,074	99.0	6,068,865	103.8	5,831,932	96.1	
	合計	8,622,608	8,566,074	99.3	8,960,865	104.6	8,553,932	95.5	

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

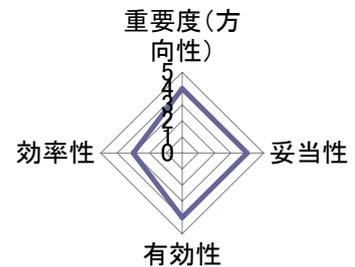
指標名1		児童1人のコスト							
指標説明(式)		決算額÷参加児童数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績	30,044	28,459	94.7	29,094	102.2	29,805	102.4	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	児童が体験活動をおし自分で考え問題解決する力、生命への思いやりの心を育み、生きる力を育成することを理解した。	4	4
	目的の妥当性	校外活動をおし貴重な社会体験を得ることができた。		
有効性	成果目標(改善)達成度	多くの児童が自然に接することにより、自立への高揚を図れた。	4	4
	市民サービス	さまざまな社会体験を得ることにより、社会に優しい人間としての育成を図った。		
効率性	コストの節減	コストに見合った成果を図れた。	3	3
	手段の最適性	期間、場所など最適の環境の中で実施された。		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	効率的な事業計画・予算執行に努める。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	成果の向上	校外活動をおし効率的な事業実施により貴重な社会体験を得る。
H19→H20予算反映額		△ 340,000

(2) 20年度の実施方針

多くの児童が自然に接することにより、自立への高揚を図る。

検討の有無	-
総合指標	21